

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第374号 平成16年2月



『陽』西成田 進

目

	頁
1) ホスピス医を経験して(5)	
小野寺時夫 … 2	
2) 私の雑記帳便り(1)	川崎健一郎 … 5
3) 私の雑記帳便り(臨時)	川崎健一郎 … 6
4) 新年賀詞交歓会	小林杏一 … 7
5) 最近読んだ本	坂井成彦 … 9
6) 「Dr. 重さん 山のカルテ」を読んで	
石井好明 … 10	
7) 山川日本史を分析する	坂井成彦 … 11
8) 地区だより	
瑞穂地区	新井敏彦 … 11
9) 写真部写真展	細谷純一郎 … 12
10) 文芸随筆諸事百般	
短歌「小寒」	鹿野純一 … 14

次

	頁
11) 新入会員紹介	広報部 … 14
12) 外来診療担当医表	
(青梅市立総合病院・公立阿伎留病院)	
広報部 … 15	
13) 各部だより	
管内市町村国保担当主務者との懇談会	保健部 … 17
学術部インフォメーション	学術部 … 19
14) 理事会報告	広報部 … 20
15) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 21
16) 表紙のことば	西成田 進 … 22
17) あとがき	池田讓治 … 22
18) お知らせ	事務局 … 23

ホスピス医を経験して (5)

スピリチュアルケアの必要性について

日の出が丘病院ホスピス医 小野寺 時 夫

◇スピリチュアルケアとは？

世界保健機構 (WHO) は健康の定義として physical (身体的)、mental (精神的)、social (社会的) に加えて、1984年に spritual な側面が重要であるとし、1990年には、特に末期がん患者には spritual care が必要であることを表明した。

スピリットとは何か、誰もが直ぐ納得できる適切な日本語がない。日本人は実質的には宗教心を持っている人が少なく、又、医療も福祉も、受ける人の心を重視する程の余裕が近年迄なかったこともあって、スピリットという言葉はなじみにくいのである。

人間は肉体と知能だけでなく、(繊細な感性や感情面での心の働きとしての) 精神的、霊的、魂を持つ、宗教的、気高い心を持つ、生命の息吹きも持つ等の存在、即ちスピリチュアルな存在であるということである。

突然がんになり余命が限られている危機に直面すると、それ迄の人生の基盤が崩れてしまい、頼れるものも希望もなくなる。そして、恐怖、怒り、苛立ち、悲嘆、不安、うつなど心が激しく動揺して、絶望の淵に立たされて悩み苦しむ人が多い。

死に直面すると、健康な時には経験しなかったり、心の中に漫然とあっても深刻には考えなかったようなことが切実な問題として浮かび上ってくる。人夫々の歩んできた人生や考え方によって、この場合の心理的・情情的変化も差が著しい。

人は現代社会の一員として生きているので、人生の価値を、経済力、社会的地位、権力、能力、学歴などで評価することが多いが、いったんその能力や立場を失うと、茫然となって自信を失って無気力になったり、今迄の人生の価値観に疑問を感じたり、残される家族に対する不安に悩み、過去の出来事に対する罪

悪感に苦しめられたり、と苦悩は限りなく湧いてくる。「自分がどうしてこういう運命に」、「神や仏がいるのか」、「死んだら自分がどうなるのか」、「ああいう事をしなければよかった」など容易に納得できたり解決したりできないことが多く、これがスピリチュアルペインである。

この状態から立ち直るために、人は二つの事を考えることが多い。一つは、自分の外にある人間の限界を超えた絶対的な存在や世界に新たな生きる望みを求めようとしたり、もう一つは、改めて自分の生きる価値を自分なりに認め直して生きることだと思う。しかし、現実には、生を諦め死を容認して、穏やかな心境に至ることは極めて困難なことが多く、このスピリチュアルペインを少しでも軽減できるように援助することがスピリチュアルケアである。この事は、死を迎えざるを得ない患者にとっては、身体的苦痛の緩和と平行して重要であり、末期がん患者の緩和ケアにはスピリチュアルケアが不可欠なものである。言い換えると、ホスピスケアは、スピリチュアルケアが伴わないとホスピスケアとは言えないということである。そして、ホスピスケアが限りなく困難であることの最大の理由でもある。

スピリチュアルケアは、末期がん患者に限らず、一般の医療や福祉でも必要であるが、日本では残念ながら近年やっと認識され始めたばかりといつてよい。最近迄日本の医療は専ら治療が中心で、それ以外の事に配慮する余裕がなかった。しかし、経済発展、治療技術の進歩、がん死亡率の増加、高齢化社会化などから、近年、患者の QOL を配慮したケアの必要性が認識されてきたのである。

◇スピリチュアルケア実施上の問題点

ホスピス医の業務の中で最も困難を感じるのはスピリチュアルケアである。スピリチュアルケアに関する内外の著述が多数あるが、「言うは易く、行うは難し」である。それは、スピリチュアルペインやそのケアに関係することが余りにも多く、医療者がその気になればできるという簡単なことではないからである。

*患者側の問題点

がん末期といっても、患者の病態は勿論、患者の年齢、性別、生れ育ち、結婚歴、職業歴、性格、死生観、価値観、家族や他の社会的環境等百人百様といつてよい。スピリチュアルな面は、個人毎に内面に持っているもので、その人格や価値観に関係するが、傍からは簡単には分からないことが多い。患者の本当の悩みや希望を知ることが容易でなく、医療者が性急に判断すると誤っていることも少なくないのである。

*ケアする側の問題点

ケアする側も患者と同様百人百様である。例えば、若い看護師が戦中・戦後を経験し、社会的にも家庭的にも波乱の人生を歩んできた人のスピリチュアルな面を判断することは容易でないのである。時には、ケアする側が患者のためと思った言動が患者の方は迷惑だと思っていることもある。ケアする側は、基本的には、患者の家族ではなく、ケアできる時間も限られているのである。

*チームケアが必須

患者とケアする側に信頼関係ができ、患者が不信感を持たず、遠慮なく自由に自分の悩み、考え、希望を話せるようになることが望まれる。このためには、なるべく多くの職種の人がケアに参加するのがよい。自尊心の強い患者は、医師や看護婦には話さないことを、ボランティアに話すこともある。経済的な悩みや家族関係の問題等は医療相談員に話し易い。食欲不振時は、栄養士が直接患者を訪問すると、例えば食べる量が増えたとしても患者の気持ちが緩らげられる。過去にした事に対する強い罪悪感で悩み苦しむ人には、牧師等の宗教家の対応が望まれることもある。

◇スピリチュアルケアの実際

スピリチュアルペインは、内面的・人格的な問題で患者毎に著しく異なる。医療スタッフは人格も人生経験も患者と同じではないし、患者の夫婦や親子の間の本当の事情も直ぐには分らない。医療者が、気負い過ぎたり指導的助言を軽率にとめることは慎まなければならない。

最も重要なスピリチュアルケアは、先ず患者の話しを時間を十分かけてよく聞くことである。殆どの患者が悩みをいっぱい抱えていて、他の人に聞いてもらえることで、少しでも緩らげられる。残された生命の限られている人の苦悩は、孤独でいる程増強する。

私自身高齢になって何時どうなるか分からないことを自覚しているためか、一人一人の患者の出来事が他人事とは思えず、同情心が自然に湧く。医師と患者との関係ではなく、この世にほんの短い生を享けた人間同志という気持ちで患者に接していることが多い。そのためか、自分の歩んできた道や考えを包み隠さず話す人、夫婦や親子の間でも話さないようなことを打ち明ける人も少なくない。

死を目の前にした人の目は敏感で、見かけの親切は直ぐ分り、本当の心は開かない。良い聞き手になるために必要なことが幾つかある。

○倦く迄謙虚で優しいこと

私が都立府中病院時代に機会ある度に職員に話していた事がある。「私共病院職員は、ともすると患者をみてやっていると錯覚しがちになる。しかし、真実はボランティアではないのだから、患者のお世話をすることで生活させて戴いている事実を常に心に留めていましょう」と言い続けていた。

知人の開業医に、特に老人患者に評判がよく、長年盛業の人がいる。私が彼にはやるコツを聞くと、「受診してくれたことを感謝しながら、患者の言い度い事を我慢しながらでも十分聞いてあげることだ」と答えた。

殆どの患者は、医療者より年齢が高いが、年齢が高い程経済的に極めて貧困で戦中・戦後も経験し、日本のこの50年間に於ける経済的大発展の基礎を築いてきた人達で、それだけ

(4)

の尊敬の念を持って接する必要がある。身体的苦痛があつて間も無く死を迎えなければならない人に深い同情心を持つのはまともな人の自然な心情である。

医療者は患者のお世話をしてやっていると、この錯覚を持ってはならず、精神的に不安定で感情の起伏の激しい患者には、どこ迄も親切に対応して腹を立てたりしてはならないと常に自分にも言い聞かせ続ける必要がある。

○患者の傍にゆったりと長時間いることが必要

患者は末期状態でしかも年齢の高い人が過半であることもあって、対応の仕方がすべてゆったりしている必要がある。殊に、患者に心を開いて話してもらうためには、ケアする人が先ず患者の傍に長い時間いる必要がある。気持ちの次の仕事に向いていたり浮き足立って話しをしても、患者は心を開かない。強いて話しを多くする必要もなく、患者の傍に居るだけでもよいのである。ここが一般病棟とはかなり異なる点で、ホスピス病棟の優劣を評価する指標として、まず患者当りの医療スタッフの数を問題にするのもこのためである。

○話題は自然に

話しの糸口は、枕元の写真、部屋の中の花、天気等何んでもよい。要はケアする側の心と態度が問題で、ゆったりと時間をかけて話すことが重要である。患者がやり度いと思つている事を叶えられるよう協力できるに超したことはないが、その詮索を急ぐ必要はない。

趣味について語るのもよい。私の趣味は山歩きや野菜作りであるが、患者の趣味や仕事と一致する時は、患者も生き活きと話し、話しが限りなく続いて大抵「この続きは次回に」と、いうことになる。

患者がやり甲斐ある仕事に打ち込んでいた時や輝いている時の話しを聞くのもよい。胃がんの80才のAさんは無口でやや傾眠がちで、看護師達はAさんは痴呆のため意志の疎通がよくできないと言つていた。Aさんが戦時中満州で砲兵隊長だった時や引き揚げてから家族を養うため六本木を舞台に色々の職種を夢中でしていた時の話しになると、急にしっかりした態度・口調に変身した。娘さん

が、「父が先生と話す時は別人の様に生き生きするのが不思議でならない」と語つていた。

音楽の好きな人には、音楽を聞いてもらうのも大変よい。何かの催しの時のアトラクションとして、時には病室で、私が上手ではないヴァイオリンを弾くことがあるが、意識のなくなりかけている患者が涙を流したり、拍手のしぐさをしたりすることがあり、私は感激で胸がつまる思いがする。プロの音楽療法が定期的にホスピス病棟を訪ねるが、下手な私の演奏はそれとは違った感じを与えるらしいのである。

患者の心を少しでも緩げる会話にはある程度感情の移入が必要で、患者の嘆きを慰める言葉に窮したり、質問に答えられずに心を傷めることもある。そのため、会話には忍耐や勇気が必要である。

夫婦や親子関係は個人々々極めて複雑微妙なことが多く、第三者には容易に理解できないのが普通である。従つて、この問題に医療者が差し出がましく立ち入るべきではないと思う。なる可く頻回に面会に来るように、とか、患者の傍についているようにとか等を安易に話すべきではない。医療者は、患者の状態を正直に家族に伝えるだけでよいのである。夫が重症になりつつあるのに奥さんの来院回数が少ない場合もいろいろの事情がある。夫が退職金迄ギャンブルに使い果すどころか、家も借金の抵当に入っており巨額の借金を残して死んでいくのだという。又、妻は障害者の息子を自宅で養育しながら、生計を立てるために働いているということもあった。生きている人には死んでいく人だけに関れない事情があるのである。

ホスピス病棟では、会話だけでなく、患者毎の誕生祝い、花見・紅葉狩り他いろいろの行事・催しを頻回にするように努力している。外出・外泊や旅行等もできる限り希望を叶えられるよう努力している。

個々の患者ケアの仕方は、医師や担当看護師が単独ではなく、いろいろの職種を入れたスタッフ全員で相談して最善の接遇を討議する。

私の雑記帳便り(1)

川崎 健一郎

頭の体操

枯れ枝と思うような枝先に、生命の息吹きを感じさせるかのような、小さな膨らみが見えて来た。とたんに「冬来たりなば春遠からじ」という文句が頭をよぎった。2年前の夏に食道癌の手術を受け、体力も低下した私にとっては、暖かい春が待ち遠しいのである。

それはさて置き、近頃物忘れがだんだんとひどくなった。

頭の中ではアレだ、コレだと分っているのにその言葉が出て来ないのである。例えば、おでんの「つみれ」の名前は言えても、「つくね」の名前が出て来ない。また、くるまの「オーディ」の名は言えても「ボルボ」の名前が口に出して言えなくなったりする。そればかりでは無い。何かをしようとしても、そう思った時にすぐにやらないと忘れてしまう始末である。物を置いた場所でも、ほんの数分後には何処に置いたのか分からなくなって、うちよろするのである。その上更に、普段は何気なく書いていた漢字でも、いざ改まって楷書で書こうとすると、突然書き方が分からなくなったりするのである。全く我ながら情なく思う。まだ83才だというのにいよいよ呆けて来たのかなァ、これは大変だ!! なんとかこれ以上呆けないようにしなければいけない、と真剣に考えた。そうして得た結論は、「頭の体操」をすれば呆け防止に役立つだろうということだった。そこで早速「頭の体操」なるものを作ってみた。それが以下に示す川崎式「頭の体操」である。

ところが、自分で作ったにも拘らず、いざ試してみると、なかなか全問正解にならず、結局のところ答を見て、アアそうだったと思って一晩寝ると翌日には又もや全問正解とはいかないのである。——これはもう本当に呆けてしまったのかなァ。——と近頃は全くユーウツな気分になってしまった。

みなさんは如何でしょうか? 気軽にひとつ試してみてください。

川崎式「頭の体操」

四字熟語です。□の中に漢字を入れて下さい。 答は次ページにあります。

〈問題〉

1. 一□一□ 2. 一□一□ 3. 一□一□
4. 一□一□ 5. 一□一□ 6. 一□一□
7. 一□一□ 8. 一□一□ 9. 一□一□
10. 一□一□ 11. 一□一□ 12. 一□一□
13. 一□一□ 14. 一□二□ 15. 一□千□
16. 一□千□ 17. 一□千□ 18. 一□千□
19. 一□千□ 20. 二□三□ 21. 三□一□
22. 三□四□ 23. 三□五□ 24. 三□六□
25. 三□九□ 26. 四□四□ 27. 四□四□
28. 四□五□ 29. 四□八□ 30. 四□八□
31. 五□六□ 32. 七□八□ 33. 七□八□
34. 八□六□ 35. 八□八□ 36. 九□一□
37. 十□一□ 38. 十□十□ 39. 百□百□
40. 百□百□ 41. 千□一□ 42. 千□一□
43. 千□万□ 44. 千□万□ 45. 千□万□
46. 千□万□ 47. 千□万□ 48. 無□無□
49. 無□無□ 50. 無□無□ 51. 無□無□
52. 有□無□ 53. 有□無□ 54. 左□右□
55. 右□左□ 56. 右□左□ 57. 手□手□
58. 手□足□ 59. 上□下□ 60. 下□上□
61. 東□西□ 62. 甲□乙□ 63. 内□外□
64. 内□外□ 65. 内□外□ 66. 日□月□
67. 不□不□ 68. 不□不□ 69. 不□不□
70. 不□不□ 71. 自□自□ 72. 自□自□
73. 自□自□ 74. 自□自□ 75. 自□自□
76. 自□自□ 77. 自□自□ 78. 自□自□
79. 半□半□ 80. 半□半□ 81. 多□多□
82. 多□多□ 83. 時□時□ 84. 時□刻□
85. 独□独□ 86. 全□全□ 87. 共□共□
88. 空□空□ 89. 利□得□ 90. 離□集□
91. 羊□狗□ 92. 竜□蛇□ 93. 理□曲□
94. 立□出□ 95. 論□行□ 96. 岡□八□
97. □一□二 98. □二□二 99. □千□千
100. □心□心

〈 答 〉

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|----------------------------|
| 1. 一喜一憂 | 2. 一挙一動 | 3. 一国一城 | 52. 有名無実 | 53. 有形無形 | 54. 左見右見 ^{トミ ユウミ} |
| 4. 一期一会 | 5. 一汁一菜 | 6. 一宿一飯 | 55. 右往左往 | 56. 右顧左眄 | 57. 手練手管 |
| 7. 一進一退 | 8. 一世一代 | 9. 一朝一夕 | 58. 手枷足枷 | 59. 上意下達 | 60. 下意上達 |
| 10. 一長一短 | 11. 一日一善 | 12. 一木一草 | 61. 東奔西走 | 62. 甲論乙駁 | 63. 内憂外患 |
| 13. 一利一害 | 14. 一石二鳥 | 15. 一攫千金 | 64. 内柔外剛 | 65. 内剛外柔 | 66. 日進月歩 |
| 16. 一刻千金 | 17. 一瀉千里 | 18. 一望千里 | 67. 不即不離 | 68. 不撓不屈 | 69. 不偏不党 |
| 19. 一日千秋 | 20. 二束三文 | 21. 三位一体 | 70. 不眠不休 | 71. 自給自足 | 72. 自肅自戒 |
| 22. 三寒四温 | 23. 三三五五 | 24. 三十六計 | 73. 自由自在 | 74. 自縛自縛 | 75. 自業自得 |
| 25. 三拝九拝 | 26. 四角四面 | 27. 四百四病 | 76. 自暴自棄 | 77. 自作自演 | 78. 自画自賛 |
| 28. 四分五裂 | 29. 四方八方 | 30. 四苦八苦 | 79. 半信半疑 | 80. 半死半生 | 81. 多情多恨 |
| 31. 五臟六腑 | 32. 七転八起 | 33. 七転八倒 | 82. 多事多端 | 83. 時世時節 | 84. 時時刻刻 |
| 34. 八面六臂 | 35. 八百八町 | 36. 九牛一毛 | 85. 独立独歩 | 86. 全智全能 | 87. 共存共栄 |
| 37. 十年一日 | 38. 十人十色 | 39. 百発百中 | 88. 空理空論 | 89. 利害得失 | 90. 離合集散 |
| 40. 百戦百勝 | 41. 千戴一遇 | 42. 千慮一失 | 91. 羊頭狗肉 | 92. 竜頭蛇尾 | 93. 理非曲直 |
| 43. 千客万来 | 44. 千言万語 | 45. 千軍万馬 | 94. 立身出世 | 95. 論功行賞 | 96. 岡目八目 |
| 46. 千差万別 | 47. 千変万化 | 48. 無為無策 | 97. 唯一無二 | 98. 遮二無二 | 99. 海千山千 |
| 49. 無我無中 | 50. 無念無想 | 51. 無理無体 | 100. 以心伝心 | | |

私の雑記帳便り(臨時)

川崎 健一郎

めぐり合わせという不思議

2003年12月10日、私は「米百俵と一源三流」というタイトルの随筆を西多摩医師会事務局に届けた。それで医師会報の2004年1月号にその拙文が載り会員の皆さんが手にしたのは多分1月8日だったと思う。

ところで私は、「文芸春秋」を年間契約で購入しているので、毎月8日に直接郵送されて来る。(一般の書店に文春が並べられるのは10日なので2日早く私は文春を読むことが出来るのである。)さて、その文春が届くと、私は先ず「葎の髓から」という随筆欄から読むのが常である。それ程この欄を私は好きなのである。その欄の最初に載っているのは阿川弘之氏の随筆なのだが、今月の氏のタイトルは、「自衛隊イラク派遣」というものだった。私はアレッ!!と思った。何故かという、医師会報の今年の1月号に載っている「米百俵と一源三流」という私の随筆も憲法

改正問題、自衛隊および自衛隊のイラク派遣問題に触れていたからである。そんな訳で阿川氏の随筆を期待と不安な気持ちを持ちながら読んでみて驚いた。私が書いたのと殆ど同じ主張・内容だったのである。文春が私の手元に届いた日と医師会報を皆さんが手にした日が同じ8日であり、阿川氏のと私の随筆の内容もほぼ同じという偶然の一致。つくづく、めぐり合わせという不思議を感じるのである。更に文春を読み進めたところ、白川静氏の「文字を奪われた日本人」という論文に出会った。実をいうと私は思い付いたことを暇にまかせて、雑記帳に書き蓄めているのだが、医師会報用に「日本語が枯れて行く」というタイトルの随筆を、つい先日草稿として書き終ったばかりだった。(会報3月号に投稿を予定している)そんな訳で白川氏の論文を興味深く読んだところ、日本語が危機的状態になりつつあること、特に漢字教育の軽視と

誤りに関して文部省（現在の文部科学省）や国語審議会に対し激しく批判・抗議をしていたのである。これも又私と同意見だったので、私はびっくりしたり我が意を得たりと安心したりもしたのだが、これも又時期と内容が殆ど一致しているという偶然、めぐり合わせに不思議な感じがするのである。

なお、以前といても2003年12月号の医師会報に書いたことだが、中央自動車道の諏訪湖SA内の温泉の浴室で一緒になったお客さ

ん（その日浴室には私とその人とたった2人だった。）が同じ日に木曽福島的車屋で私と同じく「そば」を食べたという何とも不思議なめぐり合わせ。このように偶然もたび重なる何かしら運命的なものを感じるのである。われわれは、ひょっとすると目には見えない何か極めて細い糸のようなものでお互い繋がっているのかも知れない。どうもそんな気がする今日この頃である。

平成16年

「西多摩医師会新年賀詞交歓会」

1月17日（土）午後6時より恒例の西多摩医師会主催の新年賀詞交歓会が青梅市福祉センター「ふよう」で開催された。

雪が舞う天候にもかかわらず、来賓25名、医師会会員45名の出席があり大変賑やかな会となった。宮川会長が開会の挨拶をされ、今年も医療費改訂があり大変厳しい時代であるが、医療活動を頑張ってほしいと述べられた。

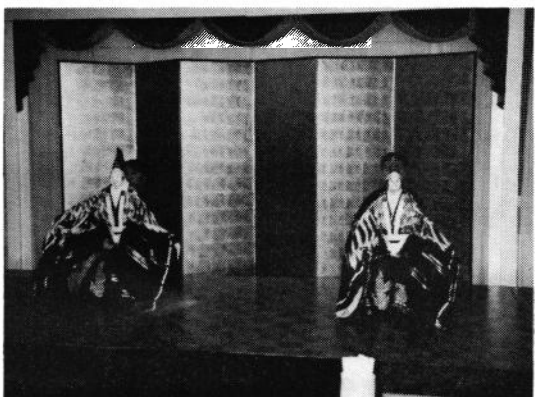
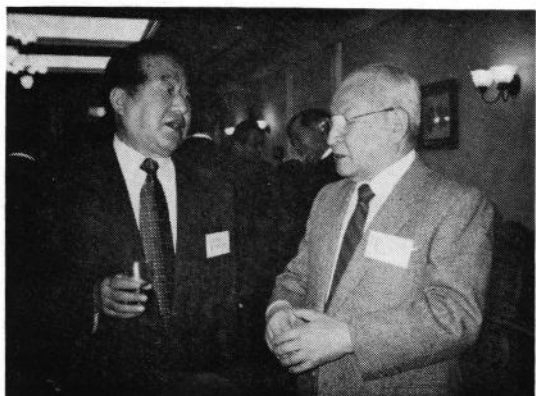
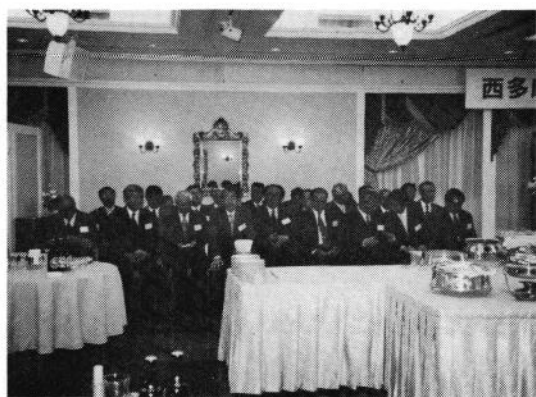
次いで、来賓の代表として衆議院議員の島田久、井上信治両議員が挨拶され、国政に全力を尽くす事、また西多摩の医療発展に協力していきたいと述べられた。都議会議員を代表して野村有信議員が次に挨拶され、医師会入会当時の思い出を話され以前の様な活気ある医師会活動を望むと述べられた。市町村長代表として竹内俊夫市長が市財政の窮迫、医療費の増大する現状を説明され今後は市民が健康で生き生きと暮らせる地域になるよう疾病予防施策を講じていきたいと述べられた。その後、本日出席頂いた来賓の方々の紹介が行われた。続いて東海林文夫多摩川保健所長の音頭で全員で乾杯を行い、懇談に移った。東海林所長は疾病予防の為の健康フォーラムなどを開催し、元気な西多摩を目指した

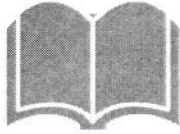
保健活動を行っていききたいと述べられた。日頃お会いする機会の少ない議員・各首長の方々と和やかな懇談が続き、おなかも満たされ適度にお酒も入った頃本日のアトラクションとして八王子車人形西川古柳座の皆さんにより江戸時代から庶民の娯楽として親しまれてきたロクロ車を使った人形芝居が披露された。新年にふさわしい二人三番叟・団子売り・スパニッシュダンスの洋舞を見せて頂いたが、一人で一体の人形を操る伝統芸は大変素晴らしいものだった。

その後、恒例となっている福引きを行い当選された先生方に賞品が手渡された。締めくくりに松原監事による手締めを行い、そして小机総務部長による閉会の挨拶があり楽しい会は終了となった。

多くの会員の方に参加頂き、相互理解を深め医師会活動を活発に行う事が今後の地域医療発展の原点になると考えます。これからも行事に多数の先生方の参加をお願い申し上げます。

（福祉担当 小林杏一）





「最近読んだ本」

坂井成彦

日本の外交の歴史を見ていくと、平凡な言葉だが、先人の苦勞がしのばれる。たとえば〔岡崎久彦〕の「どこで日本人の歴史観は歪んだのか」（海竜社）は読みやすく、索引さえ付けば近現代史の入門書にもなりうる。しかし、この易しさの裏には膨大な勉強量が隠されている。もし、興味のある方は「小林寿太郎とその時代」「陸奥宗光とその時代」「幣原喜重郎とその時代」（PHP研究所）のいずれか一冊を読破してみるとよい。まず、一週間や二週間は覚悟する必要がある。

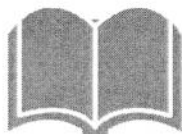
昨年10月に元レバノン大使〔天木直人〕の「さらば外務省！」（講談社）が出版され、話題となって。名は体をあらわすというが、彼はまさに直言居士。溜まりにたまった不平不満をぶちまけているので読者は腰が引けてしまう。しかし、辛口のカレーライスを食べるのだと割り切って読んでいただきたい。彼は3月に対イラク攻撃に反対する意見を二度にわたって具申したため、本局から辞職勧告と退職通知をされた人物である。小泉首相に反感を持っているのは「感動」するほどではないが、次第に電圧が高くなり、小和田恒の缶切りエピソード、斉藤邦彦のトランプエピソード、栗山尚一のバイブルエピソード、松永信雄のマージャンエピソードと続く。

しかし、彼の真骨頂は中途退職した二人の外務省先輩の生き様を比較し、敢えて茨の道を選ぶと宣言したことにある。第4章においては外務省の不祥事は氷山の一角であることを指摘し、第5章では在日米軍の犯罪に無関心な日本政府を嘆き、日本が中東和平に貢献できることは何もない、とまで極言している。第6章の表題は「こんな外務省はいらな

い」である。外務省関係者はほとんど喉元にナイフでも突きつけられたような気がするであろう。その中で在外公館の職員たちの社交オンチぶりを暴露し、返す刀で自分の前任大使が公邸に出没する幽霊におびえ、着任一ヶ月で勝手に帰国したことを嗤っている。（幽霊というのはおそらく泥棒の類いであろうし、ほかに何か事情があったかもしれない）ただし、私も嗤ってしまった。批判ばかりではない。外交官試験制度が行政改革の一環として国家公務員試験制度に一本化されたことは、国民にとって歓迎すべきであると素直に認めている。

去年の12月には続編というべき「アメリカの不正義」（展望社）が出版された。内容的にはほぼ同じことを繰り返しているだけだが、その〔あとがき〕では11月29日にイラクにおいて日本人外交官が銃撃され死亡したことにふれている。そのことにも危惧を覚えるが、このような見識に富む人物の発言がこれから黙殺されるとしたら、私はそのことにより危惧の念を抱いてしまう。





「Dr. 重さん 山のカルテ」を読んで

石井好明

神尾先生とは何年前、編集委員会で一緒になったこともあります。小生がのめないためもあって、表面的なお付き合いで、山をやって来られ、海外の山にも行かれ、テレマークという古めかしいスキーもやっておられるドクターという程度の知識がすべてでした。偶然、西多摩新聞で「重さんの山だより」をいくつか読んで、一寸変わった紀行文だなと思った記憶もあります。

「重さん 山のカルテ」の書評を、と編集長から命ぜられ、読んでみました。やはり一寸変わった紀行文でした。「あとがき」を先に読めばよかったです。何が変わっているのか、「折々のトピックに美の母胎である四季の移ろい」だけでなく、「医の視点を織り交ぜて、夢と現の分水嶺を歩くように描いてみた」と「あとがき」に述べてありました。

「医の視点」は先生の意図か、新聞社の希望が加わったのか存じませんが、「プロローグ」にも、「本書は、山の表情をかがり糸にして、医学の話題をつづり合わせる医学山岳紀行のスタイルをとっている」と書いてあります。

（「医学山岳紀行」とは初めてお目にかかる言葉でした。）

書評というものは、著者と同等以上の人が書くものと思っておりますので、小生にはおこがましくて書けません。単なる読後感でお許し下さい。

読み始めますと、いきなりヒマラヤの空の青さやチベットの理想郷シャンバラにつづいて、DNAやゲノムの話が出てきます。空が青く見える物理学的説明がつづき、良寛の俳句が出てくる。（プロローグの始めの短歌は著者の作であるとのこと）という具合です。

ヒマラヤ・カラコルム・チベット・クンザなど、著者が直接御覧になった状況を、もっと具体的に知りたかった（写真は素晴らしい

けれど、もっと詳しく言葉でも知りたい）と思います。

「医の視点」では、耐久レースの要件、テロメアと老化・寿命、エンドルフィン、高地の生理学、内臓肥満、夏山対策、納豆の効能、老化対策、登山と大腿四頭筋の解説が述べられ、特に中高年が健康を保つ要点は、わがことと参考になりました。

日本の山についても、奥多摩三山を始め、陣馬山、北八ツ、上高地、屋久島、小笠原、富士、燕岳、韓国岳、有珠山、尾鈴山、尾瀬などが登場し、温泉の話も加わり、親しみを増しています。尾瀬の「泥炭化の過程はヒトの動脈硬化を彷彿とさせる」というところは、「山のカルテ」ならではの記述でした。

また、著書は山だけでなく、その地に住む人にも関心を持たれ、僻地医療の実習を海外でもやってこられ、見る人、考える人だけでなく実践する人であることが、印象づけられました。



山川日本史を分析する(111ページまで)

坂井成彦

先月まで私は九条兼実が出家して慈円になったのだとばかり思っていた。そのくらいふたりの思想傾向は似ている。道理史観といっても、その中身は武士が勢力を伸ばしても不思議ではないといった程度の史観である。別人だと知って茫然自失したまま突然原稿が停止したのを深くお詫びする。

さて、建築に話を移す。東大寺南大門の再建に力を注いだ重源は大仏様の建築様式を用いた。(新山川)では写真と設計図の両方で半ページも割いて禅宗様の円覚寺舍利殿と比較しているが、その違いがわかりにくい。どちらも宋由来であるが、南大門は大陸的、舍利殿は整然で精巧であると区別している。また、屋根の勾配が急なのが禅宗様とも説明している。むしろ、構造の大きい南大門が大仏様で、小さい舍利殿が禅宗様であるとする方が学的には理解しやすい。(そういえば、加藤周一のエッセイに「中国の屋根のそり」というのがある)東大寺の大仏よりもやや小さい鎌倉の大仏には大仏殿がない。昔はあったが、津波で押し流されたという説が有力である。湘南にあこがれる私としては複雑な心境である。

彫刻はやはり東大寺南大門の金剛力士像。平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像で奇木造が使わ

れたがその部品は10個前後。それに対して金剛力士像は左右各々で3000個の部品が使われている。空也上人は平安前期の踊念仏の元祖であるが、空也上人(像)は鎌倉前期の康勝作である。平家物語は軍記物の傑作、平曲として琵琶法師によって広められた。(平治)物語というのものもあるから要注意。平治物語絵巻も傑作とされているが、現在はボストン美術館蔵となっている。第二次大戦後のどさくさでチョコレートと交換して持ち去ったらしい。日本の美術品は早く日本に返せ。ODAや国連拠出金などで日本がどれだけ国際協力していると思っているのだ。

尾張では瀬戸焼が作られるようになった。瀬戸内海でなくてもただの瀬戸でよいのだ。平清盛が音戸瀬戸を開き、小柳ルミ子が「瀬戸は日ぐれて夕波小波」と歌ったように、瀬戸は海と関係する地名、海路、恋の通路などを意味する。(やや強引、次回までにきちんと調べておく)ここで私は宿題を思い出した。天皇に仕える供御人=神人=誇り高き貴族階級の代理人、彼らは商人の取引を保証する見返りとして供物を受け取っていた。(東大・網野説・この人ほんとにすごいです)というわけで今月はここでおしまい。

地区だより

瑞穂地区 瑞穂町医師会忘年会

恒例の忘年会は、保健センター職員の方々との懇親会を兼ねて、12月19日、福生市の「梵天」にて行われました。ここ数年、和食が続いたため、今年は中華料理となりました。宴は瑞穂町医師会会長、保健センター課長の挨拶で始まり、酒と料理を楽しみながら、ビンゴゲームで盛り上がり、すっぽんスープでは、お肌に良いとか、精力がつくとか、一段と盛り上がり、その夜、体が火照って、あるいは鼻血で寝付かれなかった人がいたかも知れません。そして、今年に米寿を迎えられた栗原先生の一本締めで楽しかった忘年会もお開きになりました。(新井敏彦)

第32回西多摩医師会 写真部写真展

平成15年11月25日(火)～12月1日(月) 羽村市コミュニティーセンター2階ロビー



銚子の滝 真鍋 勉



花に蝶 -キタテハ- 坂本 保己



彩雲 -北ア鏡平にて- 石井 好明



ほほえみ 松原 貞一



月下美人 稲垣 壮太郎



聞修院の秋 岩尾 芳郎



ルドベキア 田村 啓彦

第32回西多摩医師会写真部写真展が11月25日(火)～12月1日(月)まで羽村市コミュニティーセンター2階ロビーにて開催されました。

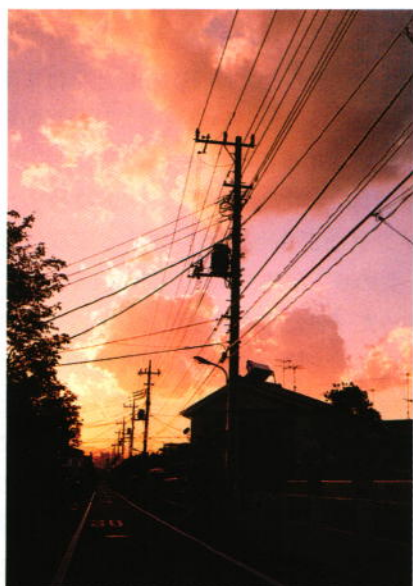
今回の作品は秀作ぞろいと部員一同自負しております。会報上ではその迫力が伝わなくて残念ですが力作の一部をご覧いただければと思います。会員の先生方にも、ぜひ会場に足を運んでいただければと思います。

写真に興味のある会員は、写真部の松原部長までご一報下さい。次回は、7月頃に第33回の写真展を予定しております。

(写真部 細谷 純一郎)

枝垂れオンシジウム

森本 晋



帰り道 鹿野 純一



大阪 箕面の秋 細谷 純一郎

文芸随筆諸事百般

小寒

鹿野純
一

新しい絶対倒れぬ三輪車

郵便局まで心地をためす

一本の高いアンテナ立ちており

工場町の寒空の中

環境は静かで明るく空気よし

ピアノで合唱正月の歌

老人の痴呆は多く質問に

答えず他人の節介やく人

人間は毎日食べる動物よ

晝はラジオでイランの食糧

冬の日日暮れは早く外暗く

大きいマンションあかりは点々

帰り道道路の向う夕焼けに

黒い富士山鎮座しており

新入会員紹介

仁成会高木病院院長 岡本 忠 会員

平成4年3月に仁成会高木病院に就職いたしまして、かれこれ11年が過ぎました。その間、西多摩医師会の皆様方にはひとかたならずお世話になってまいりました。厚く御礼申し上げます。この度、高木病院の青梅市今寺への新築移転にあたり、院長職を拝命し、いままでのB会員からA会員への仲間入りをさせていただきました。これからも引き続きご指導ご鞭撻、お願い申し上げます。



私事では、こしばらく、体力維持のためジョギングなどもしております。家族は妻と三男一女の6人家族ですが、この11年の間に、小さかった子供たちも大学生となり、中学3年になる末の娘を除いて、息子たちは皆、家から離れていってしまいました。今では正月などの子供たちの里帰りを楽しみにしている立場に、いつの間にならなくなってしまっております。その様なわけで最近の家族全員の写真がなく、新築移転パーティーでのひとこまを載せさせていただきたいと思います。

広 報 部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成16年1月1日現在

診 療 科	月	火	水	木	金
新 患 担 当	大友	原	大玉	今井	桜井
総 合 担 当	交代で	交代で	交代で	交代で	交代で
血 液 内 科	小谷	今井	今井		小谷
内 分 泌 代 謝 科	原		丸野	関口	原
腎 臓 内 科	栗山	木本	佐藤	栗山	木本
神 経 内 科	高橋	高橋	宇野	高橋	
呼 吸 器 科	大玉	高野・鶴浦		大玉・平岡・谷合	高野
消 化 器 科	野口	細井	石井	野口	細井・佐藤
循 環 器 科	清水(茂)	大友・小野	副島	坂本・大野	西森・清水(雅)
リウマチ膠原病科	長坂(午後)	桜井(午後)	長坂(午後)		桜井(午後)
外 科	藤田・浅井	正木・杉崎	森田・青木	正木・杉崎	藤田・吉澤
胸 部 外 科 (心・呼)	大島(午後)		白井(午後)		
脳 神 経 外 科	高田	当番医	高田	森本	長尾
整 形 外 科	松岡/窪田 前原/上杉	松岡 前原	松岡 窪田	松岡/窪田 前原/上杉	窪田 上杉
産婦人科 妊婦	小野	内田	依光あ	荒木	依光毅
婦人予約	依光あ・内田	陶守・依光毅	依光毅・小野	小野・内田	陶守・依光あ
婦人一般	陶守・依光毅	依光あ・荒木	陶守・内田	依光毅・依光あ	小野・荒木
皮 膚 科	馬場	馬場	馬場	馬場	田島
泌 尿 器 科	友石・玉城	非常勤	玉城・安部	友石・安部	非常勤
小 児 科	林・奥山・横山	奥山・有賀・安藤	林・有賀・小山	奥山・横山・安藤	林・有賀・小山
眼 科	小野尾・小川	小野尾・花田	小川	小野尾・花田	小川・花田
耳 鼻 咽 喉 科	石川	石川・伊藤・大野	石川	伊藤・大野	石川・伊藤・大野
精 神 科 新 患	山口	京野	山口	南光	三ツ汐
再来予約	三ツ汐・平山	山口	三ツ汐・南光	山口	京野・茂末
放 射 線 科	佐藤(IVR)				太田(放治)
リハビリテーション科					
口 腔 外 科	高久/黒川	森	佐藤	佐野	高久

* 内科の網掛けは、予約診察

* 複数の医師を/で区切っているのは、週ごとに交代で診察

公立阿伎留病院 外来部門診療担当医表

平成16年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	1	西成田	伊藤	矢嶋	山上	西成田	休 診
	2	山上	西成田	佐藤	北原	増田	
	3	宮澤	金子	宮澤	小野	伊藤	
	4				金子		
午後診			▲佐野(HOT)				
リウマチ科				西成田			
専門外来	神経内科(石川)	ペースメーカー 増田 循環器 江本 (PM)	糖尿病(藤原)	腎(蓬田) 糖尿病(藤原)	泌尿器 岡田 AM		
血液透析	仲野谷	朝岡	朝岡	仲野谷	佐藤		
人間ドック				西成田			
小児科	岩本 森本	岩本 森本	岩本 森本	岩本 非常勤	岩本 森本		
専門外来(午後)		乳児検診(予約)	予防接種(予約)	予防接種(予約)			
外科	1	矢嶋(予約)	矢嶋	阿部	矢嶋(予約)	矢嶋	
	2	永田	細田	深谷(形成) 永田	永田	阿部	
整形外科	若林 小野	若林 藤田	藤田 小野	若林 藤田	若林 小野		
脳神経外科	伊藤	藤塚	前村	伊藤・◆脊山	脊山		
皮膚科 (午後診)	堀田 予約検査	堀田 アレルギー外来(早川)	堀田 凍結療法	堀田 真菌外来	三宅		
泌尿器科	朝岡	仲野谷	佐藤(透析室長)	朝岡	朝岡		
産婦人科	婦人科	森田	伊藤	斉藤	森田	斉藤	
	産科	斉藤	斉藤(1・3・5週) 森田(2・4週)	森田	伊藤	百村	
眼科	原田	原田	原田	高島	扇谷		
	予約検査	扇谷 手術	扇谷	原田・扇谷(手術) 予約検査	予約検査		
耳鼻咽喉科	河合		河合	大野			
麻酔科			相田				
歯科口腔外科	山下 足立	山下	山下	山下	山下		

- 内科診療及び午後診療は、予約を要します。
- ★ 内科火曜日専門外来は、増田(2・4週のみ)がペースメーカー外来を担当します。
- ▲ 内科火曜日午後診療は、佐野(1・3週のみ)がHOT外来を担当します。
- ◆ 脳外科木曜日の午後診療(専門外来「もの忘れ外来」を含む)は、脊山が担当します

各部だより

保健部

「管内市町村国保担当主務者との懇談会」報告

11月26日(水)午後1時30分より西多摩医師会館において恒例の各市町村国保担当主務者と医師会との意見交換・懇談会が行われた。

今年は、8市町村13名の主務者の出席に対し、医師会からは、宮川会長・小机・森本・小林・細谷の5理事と事務長の計6名と寂しい限りであった。

宮川会長・担当幹事の日の出町宮田石根住民課長の挨拶で会は始まり、続いて保険医療費の動向・老人保険医療費の動向について説明があった。

14年度は、11ヶ月の決算です。檜原村を除き7市町では、国民保険被保険者数の増加がみられた。医療費の給付件数の増加が認められる反面、1件当たりの費用は減少する傾向が認められた。

説明の後に意見交換会が行われた。毎回出る話題であるが、主病名から考えられる関連検査項目の査定については、レセプトの点検は事務的に行われている為、疑い病名・検査病名は明記するほうが賢明との事であった。
(文責：細谷純一郎)

1. 市町村国民健康保険医療費の動向

保険者名	年度	被保険者数(人) (年間平均)	療養費の給付等		1人当たり費用額(円)	1件当たり費用額(円)
			費用額A(千円)	件数B(件)		
青梅市	12	33,247	6,403,933	330,530	192,617	19,375
	13	33,782	6,630,421	347,791	196,271	19,064
	14	35,676	6,066,829	346,184	170,054	17,525
福生市	12	17,830	3,239,666	189,075	181,697	17,134
	13	18,305	3,290,390	196,591	179,754	16,737
	14	18,819	2,952,136	190,090	156,870	15,530
羽村市	12	14,200	2,730,312	155,137	192,275	17,599
	13	14,617	2,846,199	163,786	194,718	17,378
	14	15,454	2,672,092	157,769	172,906	16,937
あきる野市	12	20,048	3,916,929	220,349	195,378	17,776
	13	20,693	4,159,753	232,243	201,022	17,911
	14	21,728	4,489,949	260,789	206,643	17,217
瑞穂町	12	10,075	1,700,362	101,201	168,770	16,802
	13	10,423	1,831,520	106,756	175,719	17,156
	14	10,997	1,708,309	104,835	155,343	16,295
日の出町	12	3,681	778,820	38,934	211,578	20,004
	13	3,813	746,834	41,689	195,865	17,914
	14	4,059	746,731	41,475	183,969	18,004
奥多摩町	12	1,822	470,102	20,903	258,014	22,490
	13	1,781	454,621	21,029	255,262	21,619
	14	1,828	436,616	20,481	238,849	21,318

檜原村	12	898	193,316	8,485	215,274	22,783
	13	844	189,697	8,054	224,759	23,553
	14	831	189,793	7,592	228,391	24,999
12年度計		101,801	19,433,440	1,064,614	190,896	18,254
13年度計		104,258	20,149,435	1,117,939	193,265	18,024
14年度計		109,392	19,262,455	1,129,215	176,087	17,058

※ 数値は、一般被保険者＋退職被保険者等の合計。

2. 老人保健医療費の動向

保険者名	年度	被保険者数(人) (年間平均)	療養費の給付等		1人当たり費用 額(円)	1件当たり費 用額(円)
			費用額A(千円)	件数B(件)		
青梅市	12	12,635	8,835,497	305,146	699,287	28,955
	13	13,070	9,341,045	323,146	714,694	28,907
	14	13,469	8,988,448	342,120	667,343	26,273
福生市	12	4,932	3,245,022	141,281	657,953	22,969
	13	5,232	3,424,453	152,000	654,521	22,529
	14	5,505	3,444,131	164,950	625,637	20,880
羽村市	12	3,935	2,930,491	115,489	744,725	25,375
	13	4,205	3,145,888	123,150	748,130	25,545
	14	4,389	3,090,643	132,095	704,179	23,397
あきる野市	12	7,829	5,141,148	204,190	656,680	25,178
	13	8,151	5,348,131	215,890	656,132	24,772
	14	8,456	5,405,400	229,398	639,238	23,563
瑞穂町	12	2,548	1,889,918	64,154	741,726	29,459
	13	2,613	1,865,238	67,767	713,830	27,524
	14	2,801	1,742,187	72,757	621,988	23,945
日の出町	12	1,879	1,163,558	43,454	619,243	26,777
	13	1,924	1,259,357	45,622	654,551	27,604
	14	1,929	1,201,994	46,561	623,118	25,815
奥多摩町	12	1,663	930,557	39,727	559,565	23,424
	13	1,692	986,104	40,787	582,804	24,177
	14	1,700	953,708	41,851	561,005	22,788
檜原村	12	825	363,543	15,070	440,658	24,124
	13	841	394,971	14,959	469,644	26,404
	14	849	411,675	15,854	484,894	25,967
12年度計		36,246	24,499,734	928,511	675,929	26,386
13年度計		37,728	25,765,187	983,321	682,920	26,202
14年度計		39,098	25,238,186	1,045,586	645,511	24,138

※ 数値は、国保＋社保の合計。老人医療給付費等は、医療給付費＋医療支給費の費用額合計。



学術部 Information



《2月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

① 日 時：平成16年2月21日（土）

場 所：公立福生病院事務棟1階講堂（駐車場あり）
福生市加美平1-6-1（JR青梅線 福生駅徒歩5分）

演 題：『第2回パネルディスカッション「呼吸器疾患」』

【プログラム】

司会：西多摩医師会学術部長 森本 晋 先生

1. 特別講演

座長：公立福生病院 松原 弘明 先生

「新しいガイドラインに沿った喘息と COPD 治療」

講師：帝京大学医学部附属病院 内科 大田 健 教授

2. パネルディスカッション（各演題発表時間各20分）

(1) 「慢性閉塞性肺疾患患者の飛行機利用」

公立福生病院 内科医長 松原 弘明 先生

(2) 「慢性閉塞性肺疾患患者の在宅酸素療法」

公立阿伎留病院 呼吸器科 鈴木 良一 先生

(3) 「開業医における咳喘息の考え方と治療方針」

青梅市 沢井診療所 宮下 吉弘 先生

(4) 「睡眠時無呼吸症候群の臨床と実際」

青梅市立総合病院 呼吸器科 鶴浦 康司 先生

② 日 時：平成16年2月23日（月）

場 所：青梅市立総合病院南棟3階講堂

演 題：『胃・食道逆流症（GERD）－PPI 診断から治療の道標－』

獨協医科大学越谷病院消化器内科 教授 桑 山 肇 先生

理事会報告

★ Information

12月定例移動理事会**平成15年12月25日****料亭 井中居**

〔出席者：宮川・真鍋・玉木・新井・神尾・小机・小林・原・細谷・森本・横田・松原・足立〕

【1】 報告事項**1. 都医医師会長協議会報告****① 予防接種の実施について**

個別接種における保護者の同伴：小学生以下については、保護者の同伴が原則であるが、中学生について保護者が同伴しない場合には、保護者のサイン欄には事前に保護者がサインをするとともに、予診後非接種者本人のサインも合わせて記入することで、予防接種ができることとなった。

② 「情報開示・地域医療連携推進モデル事業」モデル地区選定について

東京都医師会は、東京都の補助を受けて上記モデル事業を本年2月より中央ブロック（千代田、中央 etc の各医師会）で開始する。各医療機関の電子カルテ（に限る）の情報を都医師会内に設置したサーバーに保持し、それを患者さんだけが見ることが出来る。患者さんは閲覧し、それに対して聞きたいことを書き込むことが出来、主治医により細かく答えてもらえるため相互の信頼が深まることが目的。

2. 各部報告**総務部－クリスマス会報告**

会員62名、同伴者84名、子供26名、計172名の参加があり盛況であった。

3. 地区医師会よりの報告

特になし

【2】 報告承認事項**1. 入会会員について — 承認 —**

入会－A会員：小野龍太（青梅坂本病院、青梅）、山本禎一（坂本第二病院、青梅）、
田口弘之（多摩リハビリテーション、青梅）

B会員：高木病院 2名

退会－青梅坂本病院 2名、坂本第二病院 2名、多摩リハビリテーション 1名

【3】 協議事項**1. 徳州会病院の件：東京都請願審査における野村有信理事（自民党）の質疑議事録**

お知らせ

事務局より **お 知 ら せ**

平成16年3月(2月診療分)の

保 険 請 求 書 類 提 出

3月8日(月)

—— 正午迄です ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 2月は12日(木)
 3月は10日(水)の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成16年2月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 葉山 隆

森本 晋 石井 好明 池田 譲治 坂井 成彦
鈴木 道彦 込田 茂夫 馬場 眞澄

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



お取引をまとめるほどに
オトクになる、
たましんの新サービス。

たましんポイントサービス

ロングパートナー LONG PARTNER

簡単お申込みでメリットいろいろ!

お客様のポイント数に応じた3つのステージ
(ブロンズステージ・シルバーステージ・ゴールドステージ)でお得な**〈特典〉**

- ATMの時間外手数料等**〈手数料の優遇〉**
例:ATMご利用による時間外手数料を最大で全額キャッシュバック。
- 定期預金・各種ローンの**〈金利優遇〉**
例:スーパー定期、スーパー定期300の金利優遇最大0.1%、
個人ローンお支払い利息を最大25%キャッシュバック。
- 年金振込ご契約の方なら
〈金利優遇しあわせ定期プラスのご利用OK!〉
おひとりさま250万円まで
- 年に1回抽選で**〈ギフトカードプレゼント〉**
5000円分を100名様にプレゼント。

申込み
無料

※定期預金の金利優遇、しあわせ定期プラスのご利用はゴールドステージの方のみとなります。

詳しくは店頭またはホームページで。http://www.tamashin.jp